

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター	2～7 セメスター(2019 年度秋セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	国際機関の役割と活動 (須藤智徳)

1. プログラム名	国際機関の役割と活動													
2. 担当教員	須藤 智徳													
3. 実習地	東京、スイス(ジュネーブ)、フランス(パリ)													
4. 開講年度	2020 年度													
5. 開講時期	春セメスター ※ただし、実習は 2019 年度冬セッション期間中に終了します。													
6. 開講言語	・日本語/英語 [実習で使用する場合があります言語: 英語]													
7. 単位数	2 単位 -セメスターの登録可能単位数の上限に含まれません。													
8. プログラム概要	<p>本プログラムは、将来国際機関への勤務希望を有する学生や国際機関に関心を有する学生のためのプログラムである。</p> <p>本プログラムでは、ジュネーブにある国連専門機関(OHCHR, ILO 等)及びパリにある OECD 本部、国際エネルギー機関(IEA)を訪問し、各国連専門機関の役割や業務内容及び業務プロセスを学ぶ。</p> <p>事前授業では、外交、国際機関の役割及び地球規模課題について学ぶ。</p> <p>現地実習では、事前授業での学修をベースに、国際機関を訪問し、各国際機関の役割や活動について学ぶ。</p> <p>事後授業では、各国際機関を訪問した結果を受け、大学生として何を学び、どのような活動を行うことが必要かを検討する。</p>													
9. プログラムのねらい	<p>本プログラムは、将来国際機関への勤務希望を有する学生や国際機関に関心を有する学生のためのプログラムである。</p> <p>本プログラムでは、国際機関を訪問し、各機関の役割や業務内容及び業務プロセスを理解し、将来国際機関に就業するために必要な知識やコンピテンシーを強化するために、大学で必要な学修や活動について考える機会を提供する。</p>													
10. 参加費 (目安)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通費</td> <td>¥173,000</td> </tr> <tr> <td>宿泊費</td> <td>¥80,000</td> </tr> <tr> <td>現地交通費</td> <td>¥20,000</td> </tr> <tr> <td>事務手数料</td> <td>¥1,000</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>¥274,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>[上記に含まれないもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 食費 ➢ VISA 取得費用(必要な場合) ➢ 海外旅行保険、J-TAS 費用 ➢ 日本国内交通費 ➢ 予防接種費(希望者のみ) ➢ 海外送金手数料(発生する場合) 		項目	費用	交通費	¥173,000	宿泊費	¥80,000	現地交通費	¥20,000	事務手数料	¥1,000	Total	¥274,000
項目	費用													
交通費	¥173,000													
宿泊費	¥80,000													
現地交通費	¥20,000													
事務手数料	¥1,000													
Total	¥274,000													

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター	2~7 セメスター(2019 年度秋セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	国際機関の役割と活動 (須藤智徳)

11. 履修の目安	本プログラムでは、積極的に英語での議論に参加することが求められる。
12. 到達目標	<p>APS 各学修分野の視点から以下の点を習得することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際機関の役割を理解する。 ・ 国際機関の業務を理解する。 ・ 国際機関の業務プロセスを理解する。
13. 授業方法	<p>[事前授業]</p> <p>2020 年 2 月 12 日(水) 5-6 限目、および 2 月 13 日(木) 5-6 限目 (計 4 講義)</p> <p>国際機関に関する基本情報や基礎理論に関する講義およびグループワーク</p> <p>[実習]</p> <p>2020 年 2 月 16 日(日)~2 月 27 日(木)</p> <p>東京にて国連大学、世界銀行、JICA本部、外務省、ジュネーブにて国連専門機関、パリにて OECD、IEA 等を訪問し、実施機関の職員や受益者へのインタビュー等を通じ、各機関の事業の狙いとその効果の把握を行う。</p> <p>[事後授業]</p> <p>2020 年 2 月 28 日(金)、4 月 3 日(金) 各日 4-5 限目 (各日 2 講義 計 4 講義)/</p> <p>本プログラムを通じて得た情報を整理し、結果についてプレゼンテーションを行う。また、本プログラムで得た経験をもとに、今後の学修計画について検討する。</p> <p>[多文化協働学修に関する環境と手法]</p> <p>本プログラムは国内学生及び国際学生の混合チームでグループワークを行う。また様々な国の出身ながら中立の立場である国際機関職員からのレクチャーを受けることで、国際機関という多文化協働環境に必要なコンピテンシーを学ぶ。</p>

科目	
2011年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター	2~7 セメスター(2019年度秋セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	国際機関の役割と活動 (須藤智徳)

14. スケジュール(暫定)	[事前授業]		
	日	時限	内容
	2月12日(水)	5限 6限	イントロダクション 二国間外交と多国間外交
	2月13日(木)		国際機関の役割と活動 地球規模課題
	[現地での実習]		
	日	内容	
	2月16日(日)	大分～東京	
	2月17日(月)	終日:在京国連機関、JICA、アジア開発銀行等訪問	
	2月18日(火)	JICA 地球ひろば訪問	
	2月19日(水)	東京～ジュネーブ	
	2月20日(木)	終日:在ジュネーブ国連機関等訪問 (OHCHR, ILO, UNHCR,)	
	2月21日(金)	終日:在ジュネーブ国連機関等訪問 (OHCHR, ILO, UNHCR,)	
	2月22日(土)	自由研究	
	2月23日(日)	ジュネーブ～パリ	
	2月24日(月)	パリの国際機関訪問	
	2月25日(火)	パリの国際機関訪問	
	2月26日(水)	パリ～	
	2月27日(木)	東京～大分	
	[事後授業]		
	日付	時限	内容
2月28日(金)	4限 5限	資料整理、プレゼンテーション準備 プレゼンテーション	
4月3日(金)		今後の学修方針、進路について検討会	
15. 成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席および授業・実習への貢献 40% ・ 最終発表 30% ・ レポート 30% 		

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター	2~7 セメスター(2019 年度秋セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	国際機関の役割と活動 (須藤智徳)
16. 学生への要望事項	<p>政治情勢の急変や天候等により現地実習の内容が変更となることがあります。食生活等の生活習慣や宗教的習慣が異なりますので、訪問国の文化や習慣へのリスペクトを忘れないように。その他の注意事項に関しては授業の中でも説明しますが、申請前に疑問等があれば指導教員に相談してください。</p> <p>-海外プログラムに参加するためには、出発から帰国までの期間について、大学が指定する海外旅行保険への加入と大学指定の航空券の購入が必要です。詳細については、受講を許可された学生に対して別途に案内します。</p>
17. 教科書	
18. 参考文献	
19. 上記以外	事前授業時に受講者に講義資料等を配布する。
20. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集人数: 30 ・ 最少実施人数: 5 ・ 派遣地域安全情報: レベル 0